

2024年度研究助成 テーマと助成額

1. 心理学的研究

敬称略・五十音順 (万円)

地区	申請者		研究テーマ	助成金
静岡	浜松学院大学 現代コミュニケーション学部 講師	イソジ 李 受眞	病弱教育における不登校児童生徒のための医療・教育・家庭の連携システム構築の実態調査	50
岡山	社会福祉法人旭川荘 おかやま発達障害者支援センター 発達支援課長	イケチ ユタカ 池内 豊	発達障害のある高校生に対するキャリア教育プログラムの開発 -教育・福祉領域における活用モデルの整理-	100
千葉	江戸川大学 講師	イシバシ ミカ 石橋 美香子	発達初期の非認知能力に関する様相解明 -乳児期のやり抜く力とやり抜く力を育む要因に着目して-	49
愛知	愛知淑徳大学 学生相談室 助教	エゾエ アヤミ 江副 文美	高齢の親を介護する息子介護者の適応過程に関する質的研究 -高齢者虐待の予防に向けて-	100
愛知	名古屋大学大学院 情報学研究科 大学院生	オノ アキラ 尾野 有起良	幼児期の発達に応じた記憶方略の違いの検討	100
長野	信州大学 教育学部 准教授	チノリエ 茅野 理恵	不登校の子どもが安心を実感することのできる学校外の居場所条件の検討 -教育支援センターでの子どもと親の語りにも焦点をあてて-	96
大阪	大阪大学大学院 人間科学研究科 准教授	ナカガワ タケン 中川 威	日本の高齢者におけるウェルビーイングの世代差 -時間横断的メタ分析-	49
宮城	東北大学大学院 教育学研究科 大学院生	ニッタ フミアキ 新田 史暁	小児期逆境体験が青年のレジリエンスに与える影響 -深刻度とコントロール感に着目して-	30
広島	広島大学大学院 医系科学研究科医学教育学 准教授	ハットリ ミル 服部 稔	未来の心理専門家を育てる: 心理系大学院におけるOSCE導入の試み	84
東京	東京農工大学 准教授	ミウラ タクヤ 三浦 巧也	新たな事例検討会議システム導入による教師の専門性向上の検証 -SMAPを用いた特別な配慮が必要な児童生徒の理解・支援促進を目指して-	50
神奈川	鎌倉女子大学 児童学部子ども心理学科 講師	ヨシムラ タクマ 吉村 拓馬	一般の教師および支援者が使用可能なオープンソースの自閉症尺度の開発 -The Autism Symptom Dimensions Questionnaireの日本語版-	100
小計 11件 808万円				

2. 医学・医療的研究

敬称略・五十音順 (万円)

地区	申請者		研究テーマ	助成金
大阪	大阪公立大学大学院 リハビリテーション学研究科 大学院生	イワクラ ヨシカズ 岩倉 慶和	筋萎縮性側索硬化症における抑うつ尺度の作成 -ALS Depression Inventory-12 (ADI-12) 日本語版の臨床的有用性の検討-	82
石川	日本学術振興会/金沢大学 子どものこころの発達研究センター 特別研究員/特任研究員	シオタ ユカ 塩田 友果	診断閾値下自閉スペクトラム症の包括的理解に向けた臨床的研究	100
京都	京都府立医科大学大学院 医学研究科小児科学 研修員	タイア カ 高井 あかり	早産児の神経発達症発症リスクの早期評価における聴性脳幹反応の有用性の検討	64
東京	東京大学 高齢社会総合研究機構 特任助教	タナトモキ 田中 友規	口腔機能低下"オーラルフレイル"が高齢者の精神保健に与える影響に関する疫学研究	99
東京	東京医科歯科大学大学院 歯医学総合研究科認知神経生物学分野 助教	ナカイ アヤカ 中井 彩加	神経回路発達へのドーパミンの機能の解明 -ドーパミンシグナル操作による精神疾患治療の開発に向けて-	100
東京	東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科小児・家族発達看護学 助教	ヤコウ サツシ 矢郷 哲志	高齢者との世代間交流が幼児の社会-情緒、言語、運動発達に及ぼす影響	71
小計 6件 516万円				

3. 社会学・社会福祉学的研究

地区	申請者		研究テーマ	助成金
神奈川	星槎大学 客員研究員	オオサワ リエ 大澤 理恵	里子の受け入れが養育家庭の実子に与えた長期的影響 -実子の家族観や社会観をどう変えたか-	33
宮崎	日南看護専門学校 講師	クシマ ヌネオ 串間 宗夫	生成AIを用いた介護施設ケース記録のサマリー生成による暗黙知の共有と活用に関する研究	50
新潟	新潟県立大学 教授	コイケ ユカ 小池 由佳	保育サービス利用葛藤: 解決に向けたソーシャルワーク手法の探求 -「保育の利用動機」による児童虐待予防支援の可能性-	100
愛知	同朋大学 社会福祉学部 教授	シモヤマ ヒサユキ 下山 久之	介護福祉サービス利用者の認知機能特性に応じた生活課題の可視化と進行予防プログラムの開発 -当事者ならびにケアスタッフと行うアクションリサーチとしてのプログラム開発-	100
京都	京都府立大学大学院 生命環境科学研究科 教授	スズキ ケンジ 鈴木 健二	高齢者入所施設の施設形態からみた新型コロナ陽性者の発生実態と判明後の対応の検証	54
大阪	大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 准教授	ヒガシネ チョ 東根 ちよ	地域福祉実践をめぐる「地域」像の協働的創出プログラムの開発 -郊外部における「対話の場」を通じた地域マインドマップ作成を核として-	52
小計 6件 389万円				
合計 23件 1713万円				

2023年度研究助成 テーマと助成額

1. 心理学・医学的研究

敬称略・五十音順 (万円)

地区	申請者	研究テーマ	助成金	
埼玉	獨協医科大学埼玉医療センター 子どものこころ診療センター 講師	イノウエ タケシ 井上 建	QOL尺度を利用したチック症に対して治療を開始する客観的基準の探索 -QOL尺度に影響を与える因子と治療によるQOL尺度の縦断的な軌跡を活用した考察-	50
愛知	名古屋大学大学院 医学系研究科 准教授	ウヰムラ ジュンイチ 上村 純一	地域在住高齢者にとっての意味のある活動とメンタルヘルスとの関連 -健康的ライフスタイル再開モデルの構築に向けて-	50
大阪	大阪大学大学院 医学系研究科 大学院生	ウラニシ ミチ 浦西 美空	産後早期の夫婦の育児の役割分担と抑うつ症状の関連 -産後パパ育休における家庭内協働の在り方の検討-	50
兵庫	神戸大学大学院 人間発達環境学研究科 大学院生	キム ナヒョン Kim Nahyun	高齢者における社会的ネットワークの類型によるうつ傾向の違い -コンボイモデルを用いた試み-	50
京都	京都大学医学部附属病院 精神科神経科 助教	クボタ マナブ 久保田 学	自閉スペクトラム症の特性・症状と脳内グルタミン酸代謝物・GABAの関連性についての検討 -超高磁場MRI装置を用いたMRS画像研究-	50
宮城	東北大学大学院/日本学術振興会 博士研究員	コイワ コウヘイ 小岩 広平	ハイリスク者が自殺の遂行を中止する要因の解明とその効果の検証	50
東京	東京都健康長寿医療センター研究所 研究員	サクライ ハナ 櫻井 花	希死念慮や自殺企図を呈する特別養護老人ホーム入居高齢者の実態調査 -施設職員における精神症状への対応の現状の把握を通して-	50
宮城	東北福祉大学 総合福祉学部 准教授	シゲムネ ヤヨイ 重宗 弥生	パーキンソン病患者を対象とした内発的動機付けの研究 -バンドラ効果におけるパブロフ型バイアスの検討-	50
神奈川	小田原短期大学 保育学科 准教授	スギサキ マサコ 杉崎 雅子	移行期支援を促進するスクールカウンセラーの役割とコンサルテーションに関する研究 -不登校経験・発達障害を有する当事者・保護者を対象とした調査とSCへの研修を通して-	50
静岡	浜松医科大学 助教	タカハ サヤカ 高部 さやか	地域在住高齢者におけるアパシーとソーシャル・キャピタル、閉じこもりの関連検討	50
東京	東京大学大学院 医学系研究科 大学院生	タンケ アユミ 丹家 歩	周産期メンタルヘルスへの「出産と育児のためのマインドフルネスプログラム」の効果検証研究 -マインドフルネスが周産期女性の出産恐怖感に及ぼす効果:ランダム化比較試験-	50
東京	筑波大学大学院 人間総合科学学術院 大学院生	マエダ ショウタ 前田 将太	昼夜居室処遇受刑者の適応に関する短期縦断的検討	50
東京	訪問看護ステーション しもきたざわ 臨床心理士	ムトウ キョコ 無藤 清子	在宅療養者のディグニティセラピーがその家族などに持つ意味 -家族・友人・専門職の語りから-	50
北海道	医療法人社団 心劇会 理事長	ヨコヤマ モトリ 横山 太範	青年期の発達障害者に対する心理劇・心理教育マニュアルの効果検証 -成人発達障害支援心理劇・心理教育マニュアルの応用-	50
小計 14件 700万円				

2. 社会学・社会福祉学的研究

地区	申請者	研究テーマ	助成金	
宮城	東北大学大学院 医学系研究科てんかんスマート医療共同研究講座 助教	オカワ マイ 小川 舞美	小児期発症てんかん患者の病気開示の意思決定への影響要因の解明 -意思決定支援ツールの開発を目指して-	50
北海道	北海道大学大学院 教育学院 大学院生	カマヤマ ヨウキ 亀山 裕樹	子育てをするケアラーの生活状況と資源の不足に関する検討 -子どもの担うケアに着目して-	50
千葉	東京理科大学 助教	スズキ ユウ 鈴木 雄	障がいのある子・障がいのない子の双方からみたインクルーシブ公園のあり方 -障がいを問わず一緒に遊び成長できる場の創出を目指して-	50
栃木	国際医療福祉大学 専任講師	ミウラ ミエコ 三浦 美恵子	自閉症の人々に対する療育とは如何なるものであるべきか -河島メソッドからの示唆-	50
小計 4件 200万円				
合計 18件 900万円				

2022年度研究助成 テーマと助成額

1. 心理学・医学的研究

敬称略・五十音順 (万円)

地区	申請者	研究テーマ	助成金	
神奈川	横浜市立大学附属病院 助教	イデ ケイ 井出 恵子	HPVワクチン接種後ストレス関連反応の予防を目的とする心理的介入アプローチの開発 -HPVワクチン忌避低減に向けての心理的介入の試み-	50
東京	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 知的・発達障害研究部 リサーチフェロー	エガシラ ユカ 江頭 優佳	時間知覚と脳構造・脳機能に基づくADHD病態の類型化の試み	50
大阪	関西医科大学大学院 看護学研究科 大学院生	カノ ミキ 角野 美希	第1子出産後に抑うつを経験した母親の第2子妊娠期から育児期における抑うつと関連要因に関する前向きコホート研究 -第1子出産後に抑うつを経験した母親の特性とスクリーニングに関する検討-	50
京都	同志社大学 赤ちゃん学研究センター 准教授	カウ マサル 加藤 正晴	オープンなオンライン縦断研究プラットフォームの構築 -気質が子どもの発達に与える影響-	50
茨城	筑波大学 医学医療系 助教	カナサワ ユキ 金澤 悠喜	発達障害傾向の特性を持つ母親に関する育児や家事の現状と課題の明確化 -発達障害傾向の母親への育児期における支援方法確立に向けて-	50
愛知	名古屋大学 教授	カネコ ヒシ 金子 一史	児童虐待予防に向けた妊娠産褥期のメンタルヘルス -縦断面接調査を用いたボンディング障害の解明-	50
東京	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 リサーチフェロー	カシヨウ サシ 上條 諭志	発達期の小脳活動異常によるASD病態形成過程の解明 -発達期の小脳活動による「社会脳」の形成-	50
京都	理化学研究所 ガーディアンロボットプロジェクト 研究員	シュ ジュンティン 許 鈞庭	表情模倣による社会的結合の形成の心理学研究 -人間-人間および人間-アンドロイドによる検討-	48
静岡	浜松医科大学 臨床看護学講座 教授	ススキ ミズエ 鈴木 みずえ	Digital Transformation(DX)による認知症高齢者のせん妄予防ケア教育プログラムの開発と評価 -Virtual Reality(VR)・Augmented Reality(AR)体験型学習による多職種協働型医療促進への有用性-	50
北海道	北海道大学病院 精神科神経科 医員	ナカウ マリコ 中右 麻理子	ライブコーチングで子育てを楽しく！ -地域でも支援を受けられる体制作りを構築する-	50
東京	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 講師	フジノ ジュンヤ 藤野 純也	ゲーム障害における意思決定パターンの定量化 -神経経済学的アプローチ-	50
東京	東京医科大学病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 言語聴覚士・公認心理師	マツモト ナオコ 松本 尚子	文復唱を用いた人工内耳装用児の言語アセスメントの開発	50
小計 12件 598万円				

2. 社会学・社会福祉学的研究

地区	申請者	研究テーマ	助成金	
愛知	名古屋市立大学大学院 医学研究科 病院助教	オオハシ ケイ 大橋 圭	発達性協調運動障害の新規スクリーニング法の開発 -姿勢推定AIシステムを用いた協調運動の評価-	50
埼玉	国立武蔵野学院 厚生労働技官	オオハラ タカハル 大原 天青	触法少年に対する司法・福祉機関における再非行防止に向けた実践研究 -地域社会資源の開発と連携-	50
東京	明治学院大学 准教授	キム ウォンギョン 金 圓景	外国人介護人材の定着支援の現状と課題 -在留資格「介護」で就労している介護留学生を中心に-	50
群馬※	国立重度知的障害者総合施設 のぞみの園 研究部長	ヒヅメ マサフミ 日詰 正文	高齢期の発達障害者を地域で支援するための体制づくり -より効果的・効率的に実施するために-	50
和歌山	和歌山信愛大学 教育学部子ども教育学科 准教授	モリタ ジュンコ 森下 順子	子育て世代包括支援センターを軸とした過疎地域の多職種連携の在り方	50
小計 5件 250万円				
合計 17件 848万円				

※は団体申請

2021年度研究助成 テーマと助成額

1. 心理学・医学的研究

敬称略・五十音順 (万円)

地区	申請者	研究テーマ	助成金	
東京	杏林大学 医学部 助教	アツミ タケシ 渥美 剛史	自閉スペクトラム症における感覚過敏と不安傾向に関与する神経生理学的基盤の検討	48
徳島	徳島大学大学院 社会産業理工学研究部 准教授	ウチウミ チグサ 内海 千種	逆境の小児期体験がCOVID-19感染拡大下の心理的反応にもたらす影響 -大規模縦断調査による検討-	50
神奈川	国立特別支援教育総合研究所 主任研究員	カイヅ アキコ 海津 亜希子	読みのつまずきの早期改善を可能にする指導および環境要因の検討 -学校間、クラス間での指導効果の差はなぜ生じるのか-	50
東京	公益財団法人 神経研究所(小石川東京病院)／ 筑波大学 研究員・公認心理師・臨床心理士・大学院生	カシマ マキコ 川嶋 真紀子	成人の発達障害患者の認知特性 -WAIS-IVデータによる検討-	50
長野	信州大学大学院 総合医理工学研究科 大学院生	クボキ トモヒロ 久保木 智洗	発達障害傾向の中学生在が抱える日常生活上の困り感を尋ねるための自記式質問 紙開発	50
石川	金沢大学 子どものこころの発達研究センター 修士研究員	スタグ モモカ 須田 桃香	自閉スペクトラム症者における幾何学図形刺激への注視と分析的行動との関係 -ASD児は幾何学図形を好むのか?-	50
鳥取	鳥取大学附属子どもの発達・学習研究センター 特命助教	タキサワ ユウ 瀧澤 悠	学級の子どもと担任教員のウェルビーイングの相関性とウェルビーイング教育の子 どもと担任教員への効果の検証 -子どものメンタルヘルス問題の早期予防・介入のための発展的取り組み-	50
千葉	東邦大学 健康科学部看護学科 助教	ナカシマ ヒデアキ 中嶋 秀明	男性産後うつとの現状と課題を明確化する全国アンケート調査 -支援モデル作成に向けて-	50
愛知	名古屋大学 心の発達支援研究実践センター 特任教授	ノムラ ケンジ 野邑 健二	親子の特性に合わせたペアレントトレーニングプログラム作成の試み	50
東京	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所 知的・発達障害研究部 リサーチフェロー	ハヤシ サユリ 林 小百合	注意欠如・多動症児における社会的報酬の報酬頻度が実行機能に与える影響に 関する検討	50
群馬	前橋赤十字病院 小児科 副部長	ミゾグチ フミタケ 溝口 史剛	COVID-19パンデミックと子ども虐待の重症化に関する調査研究 -本邦では、パンデミックにより虐待は重篤化しているのか?-	50
宮城	東北大学大学院 教育学研究科 教授	ワカシマ コウブン 若島 孔文	報酬価値は時間により変わるのか?	50
小計 12件 598万円				

2. 社会学・社会福祉学的研究

地区	申請者	研究テーマ	助成金	
大阪※	立命館大学 人間科学研究科 大学院生	アマノ サトル 天野 諭	乳幼児期におけるセクシュアル・マイノリティの子どもの困難体験に関する研究 -セクシュアル・マイノリティ保育者のフォーカス・ディスカッション・グループを通じて-	50
宮城	仙台市精神保健福祉総合センター 主幹	オオルイ マサツグ 大類 真嗣	東日本大震災の被災者の生活支援を行う支援者向けメンタルヘルスに関する研修 プログラムの開発 -コロナ禍にも対応したオンライン研修プログラムの実装-	50
東京	東京都健康長寿医療センター研究所 副部長	オカムラ ユウジ 岡村 毅	超高齢社会における住まい喪失の研究 -社会的に脆弱な集団における共生の実現-	50
新潟	新潟リハビリテーション大学 医療学部 特任講師	チウジ ユウキ 丁子 雄希	非利き手での箸操作評価法の開発に向けて -モーションキャプチャーを使用した箸の動きの定量化解析-	50
埼玉	人間総合科学大学 保健医療学部 教授	ハマヅノ タマキ 濱園 環	医療的ケアの必要な小児を支援する看護師が抱える困難 -訪問看護ステーションに勤務する看護師に焦点を当てて-	21
小計 5件 221万円				
合計 17件 819万円				

※は団体申請